

中期環境ビジョン「Green Policy 2020」の実現に向けて 「第6期富士通グループ環境行動計画」を策定



2010年度から2012年度の新たな環境目標「第6期富士通グループ環境行動計画」では、2020年に向けた当社グループの中期環境ビジョン「Green Policy 2020」の実現を目指し、お客様・社会への貢献、自らの変革、及び生物多様性保全の観点から環境活動をグローバルに強化する18項目の目標を設定しました。

いま、目指すべき環境経営の方向性

気候変動問題や生物多様性保全等のグローバルな環境課題の解決に貢献するためには、先進的で革新的なグリーンICTの提供や事業活動における環境負荷のさらなる低減が、一層重要になると富士通グループは考えます。こうしたICT企業の果たすべき役割と富士通グループの中期環境ビジョン「Green Policy 2020」を踏まえて、「第6期富士通グループ環境行動計画」では「先端グリーンICTの研究開発の強化」と「生物多様性保全活動の推進」の2分野を新たに重点分野として設定し、環境活動をグローバルに、より強化していきます。

「第6期富士通グループ環境行動計画」の特徴

1. 先端グリーンICTの研究開発の強化

低炭素社会の実現に貢献する革新的なグリーンテクノロジーの研究開発を強化します。

2. 製品・サービスの環境価値向上とグリーンICTの開発・提供強化

2009年度から2012年度末における累計1,500万t以上のCO₂排出量削減への貢献を目指します。

3. 自らの環境負荷低減の強化

温室効果ガス排出量のさらなる削減のため、2012年度末までに温室効果ガスの総排出量をグローバルで6%削減(1990年度比)します。また、サプライチェーンを含めた事業活動全体のCO₂排出量の削減に取り組みます。

4. 環境経営基盤の強化

グローバルな環境マネジメントシステムの活用と社員一人ひとりによる地球環境起点の行動で、環境パフォーマンスの向上を図ります。

5. 環境社会貢献活動の推進

世界の各拠点で実施する環境社会貢献活動の情報をグローバルに共有し、世界各地でより地域社会に貢献できる活動に取り組みます。

6. 生物多様性保全活動の推進

事業活動における生物多様性への影響低減とICTを活用した生物多様性保全への貢献拡大を目指します。

これらの行動計画の推進を通じて、今後も富士通グループは環境活動をよりグローバルに展開するとともに、グリーンICTに関する技術や製品・サービスの積極的な社内実践を通じてお客様の環境経営の継続的な高度化も支援します。

■ 富士通グループは、お客様・社会とともに地球環境問題の解決に貢献します。



お客様・社会とともに

第6期富士通グループ環境行動計画目標

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/management/plan/stage6/>

未来が変わる。日本が変える。 **チャレンジ25**

富士通グループはチャレンジ25キャンペーンに参加しています。

FUJITSU
JOURNAL

富士通ジャーナル

発行 富士通株式会社
マーケティング本部 eマーケティングセンター
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2
(夕留シティセンター)
印刷 富士通アプリコ株式会社

本誌ならびに本誌掲載の製品・サービスに関するお問い合わせ先

富士通コンタクトライン TEL 0120-933-200
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)
URL <http://jp.fujitsu.com/about/journal/contact/>



※本誌記事中のプログラム名、CPU名、システム名等は各メーカーの商標、または登録商標です。

※本誌に掲載されている内容については、取材時点によるものです。

※本誌は、森林認証紙を使用しています。また、印刷インキは大豆インキを使用しています。

©富士通株式会社2010 本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

Copyright ©2010 by FUJITSU LIMITED

WE0026-2010年05月AP